

放生津・新湊地域神社復旧にかかる御寄付の御礼挨拶

謹啓

皆様におかれましては益々御健勝のことと存じます。

昨年発災した能登半島地震では、富山県射水市放生津・新湊地域に所在する複数の神社にて主に石燈籠や玉垣が倒壊するといった被害がございましたが、心温まる御支援・御寄付をいただき御礼申し上げます。

いただいた御志を活用し、放生津八幡宮を含む新湊・放生津地区における社殿や境内地の復旧は、おかげ様で順調に作業が完了し、令和7年の新玉の年の初詣においては、晴天にも恵まれ、一年越しに平穏な正月を迎えることができ安堵しております。

皆様からの温かい御支援を忘れず、春先には当地区に伝わる活気のある獅子舞にて各家々の邪気を祓い、秋には威勢よく放生津八幡宮秋季例大祭を斎行し、全ての皆様に笑顔と幸福を届けられるよう取り組んで参ります。

さて、放生津の祭りでは、地域で一体となって取り組むことを「つながる」と表現します。これは祭礼に関わる人々や地域の結束を示す言葉であり、歴史や文化を未来へと受け継ぐ意志の象徴でもあります。皆様からの温かいご支援により、この新たな「つながり」を実感し、地域の絆をさらに深めることができましたことに、改めて感謝申し上げます。

我がまち、放生津は、感染症にも震災にも負けずに、困難を乗り越えながら文化継承を続けております。引き続き応援していただければと存じます。

末筆ながら、御寄付の御礼及び新春の挨拶とさせていただきます。

貴方様・御家族皆様の弥栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

放生津八幡宮
放生津八幡宮 宮司 大伴泰史
HP:houjyoudu.com